

## 大学生の日常生活行動に対する許容意識

### The permission consciousness to the daily life behavior in the college students

石 垣 尚 男 †

Hisao ISHIGAKI

#### Abstract

It investigated permission consciousness to the daily life behavior of the college students. The permission percentage about the behavior of the smoker were low. However, there were large differences in the consciousness of the smoker and the nonsmoker. As for the use of the mobile phone in train and the bus, it was tolerant comparatively. Using a mobile phone out of the classroom, to be during class the half of the college students permits. To drink while walking at most the college students were permissible. Makeup's there being in train which permits were low. Moreover, the permission percentage was very low to the act of polluting a public place, especially female student.

#### 1. はじめに

私たちの日常生活は「良識ある暗黙の了解」の下に快適性が保たれている。「他人に迷惑をかけない」ことが暗黙の了解であることに異論はないと思われるが、迷惑の基準が人によって違っていることからさまざまな問題が派生する。

日常生活では快適性を保つために他人の迷惑になることをルールとして制限しているものがある。たとえば「他の方のご迷惑となりますので車内では電源をお切り下さい」や「通話はデッキでお願いします」などの携帯電話に関するものが代表的である。

一方、ルールとして制限していないが、行儀、礼儀、マナー、エチケットなどの言葉で表される日常規範がある。たとえば「歩きながらものを食べないこと」は中高年齢層には行儀として親から躰られ、常識となっている。なぜ歩きながらものを食べてはいけないのかその理由を説明せよと言われても説明に窮する。食べ物への尊厳や、作った人への感謝などは後付けの理屈である。

ひとことで言えば行儀の悪いことであり、「みっともない」ことである。おそらくその背景には食べるという私的行為を他者の目にさらす、つまり公的な衆目の場に持ち込み、それを目にせざるを得ない「他者の迷惑」があると考えられる。もともとこの常識は若者の間ではもはや通用していない。歩きながら食べることができる商品が売り上げを伸ばし、ファッションともなっている。

歩きながら食べることはもはや容認されたとしても、しばしば目にする女性の電車内での化粧には眉をひそめる人は多いのではないだろうか。化粧という極めて私的行為

を衆目の面前で行う行儀の悪さ、みっともなさ、公私のけじめの無さに対して当の本人は何が迷惑なのか、なぜ悪いのかと思っているであろう。迷惑の基準が揺らいできている。

教員として大学生の授業中の行動にもそれを感じる事が多くなった。たとえば講義を受けながらの飲食である。さすがに学生も食べながらの受講には周囲の目を気にするが、飲み物を飲みながらの受講は許容されていると思っている。もともと教員側も今では学会やセミナーでは会場への飲み物の持ち込みは半ば常識となっている。このため学生の飲み物の持ち込みを許容する教員は多いのではないだろうか。

では携帯電話やメールはどうであろうか。自分の講義中に電話で話し出せば怒る教員がほとんどであろう。他の学生への迷惑が建前であるが、自分の講義に対する無視への不快感や怒りが本音であろう。

授業中に席を立つ学生が増えている。トイレだけではなく、携帯電話やメールの使用のためである。教員からすれば許容できない私的行為である。教室を抜け出して電話やメールをするために席を立ってもいい（なぜ悪いのか）と思っている学生と、それを許容しない学生の割合はどのようなであろうか。教員の許容意識と学生の意識のギャップが広がっているように感じる。学生のそれらの行動を批判し規制する前に大学生の日常生活行動に対する許容意識の実態を知る必要がある。

本研究は、大学生は日常的生活行動に対して、どのような行動を許容し、どのような行動には厳しいのかを性別と喫煙、非喫煙の違いを中心に明らかにすること目的とした。

† 愛知工業大学 経営情報科学部  
マーケティング情報学科 (豊田市)

## 2. 調査対象と方法

18 歳から 22 歳までの愛知県内の大学男女を対象に 2004 年 10 月から 11 月にかけて授業時間中に無記名のアンケート調査法でおこなった。男子は 1 大学から、女子は 4 大学を対象とした。回答数は男子 291 名、女子 348 名、計 639 名であった。アンケート調査票を末尾に示す。アンケートでは他者の行動の許容か、自分の行動に対する許容かの区別をしていない。許容することは自他の行動への許容であると解釈して分析した。アンケート結果は性別と喫煙、非喫煙を中心として分析した。実数に対して  $\chi^2$  検定で独立性の検定を行い、 $p < .05$  以下を有意差ありとした。

## 3. 結果と考察

### ①喫煙に関する行動

本調査では無回答を除いた喫煙者の割合は男子 50 名 (22.3%), 女子 20 名 (6.4%) 計 70 名 (13.0%) であった。女子学生の喫煙者は少数のため性別で比較せずに男女合わせた喫煙者で分析した。

喫煙に関わる行動については、他の生活行動に比較して全体に許容する割合が低い。性別による違いはなかったが (ns), 女子学生は喫煙に対して男子より厳しい見方をしている。

「歩行中の喫煙の許容」は男子で 22%, 女子では 7.5% と少ない。また、「授業中抜け出してタバコを吸う」ことに対して男子は 27% が、女子では 21% が許容している。

「食事中的喫煙」については男女とも許容の割合は低い、中でも女子学生の割合は 12% である。

日本人の成人喫煙率は平成 14 年度の厚生労働省調査では全体で男性 43.3%, 女性 10.2% であるが、20 代では 53.3%, 17.4% と高い。喫煙に対して他の項目より許容率の低い厳しい見方をしている理由として本調査対象者の喫煙率が男子 22.3%, 女子 6.4% と低いことに理由があると思われる。

喫煙に対する意識を喫煙者、非喫煙者でみた場合には許容意識に大きな差がある ( $p < .01$ )。歩行中の喫煙を喫煙者の 45% が許容している。また吸殻のポイ捨ても非喫煙者が 1.3% であるのに対し喫煙者は 11.4% であり、ポイ捨てに対する意識の低さが伺われる。さらに食事中的喫煙は喫煙者の 50% が許容されると思っているのに対し、非喫煙者はわずか 12% であり両者に大きな意識の差がある。

非喫煙者も受動喫煙を強いられる歩行中の喫煙、食事中的喫煙に対して、また吸殻のポイ捨てという公共の場での行為、行動に対して非喫煙者の許容度は非常に低い。一方、これに対しトイレで吸う、禁煙場所で吸う、授業中抜け出してタバコを吸うこと、つまり非喫煙者と共有しない場所での喫煙には非喫煙者は比較的寛容である。

### ②「飲み物」 通学・通勤時の電車やバスの中で飲むことについて

通勤・通学時の車内で飲み物を飲む場面をしばしば見かける。もちろん新幹線や旅行時の車内では飲食は自由であるが、通勤・通学の電車、バスの車内となると許容されるかどうかの判断は違うと思われる。許容意識に性別で有意な差があった ( $p < .05$ )。

「絶対にダメ」と考える割合は男子 7.2%, 女子 3.2% であり少数である。「構わない」「混雑していなければ飲んでもよい」とする条件つきを合わせると男女とも 80% 以上が許されると考えている。混雑していなければという条件つきは男子で 56.7%, 女子で 64.7% と半数以上であり、女子の方が状況で対応する姿勢がある。

### ③飲み物に関する行動

「歩きながら飲む」ことは男子 80.4%, 女子 67.8% であり、男子の方が高かった。男子の 8 割、女子の 7 割が歩きながら飲むことを許容している。

これに対し、「授業中に飲んでもよい」とするのが男子で 43.6%, 女子で 53.2% であり、授業中の飲み物についてはむしろ女子学生の許容度が高い。「容器のポイ捨て」に対しては男女とも厳しい見方をしている。授業中に飲むことに対しては歩行中と同じ程度の意識ではないかと予想していたが、それに比較して高くなかった。

### ④「食べ物」 通学・通勤時の電車やバスの中で食べることについて

通勤・通学時の車内でものを食べることは飲み物に比較して許容度は低い。「絶対にダメ」とするものが男子で 22.3%, 女子で 15.2% である。女子の「構わない」とするものは男子 (13.1%) より少ない (8.3%) が、「混雑していなければよい」が 64.7% である。女子学生は、飲み物と同じく食べ物に対しても、男子 (48.1%) に比較して条件つきで許容されるという意識をより持っている。

### ⑤食べ物に関する行動

「歩きながら食べる」ことは歩きながら飲むことより許容度は低いが、それでも男子で 62.2%, 女子の 52.6% が構わないと考えている。「授業中に食べる」ことが許容されると思っている学生は男子で 21.3%, 女子で 17.5% である。授業中に食べることは、飲み物より許容度は低い。

授業中の飲み物はいいが食べ物にダメという意識の背景には、匂いがする、音がうるさいなどの迷惑感や、教室であって食堂ではないという意識のためではないかと考えられる。

「容器のポイ捨て」には飲み物と同様に厳しい評価をしている。女子学生では許容されるとするものは 0% であった。タバコ以外に喫煙者、非喫煙者で分布に差があったのは唯一、食べ物に関する行動であり、ポイ捨ての意識に差がある。喫煙者で「ポイ捨て」が許されると考えるものが 5.7% であり、これは容器についてもタバコの吸殻のポイ捨てが許されるとする同様な感覚でいるのではないかとと思われる。

### ⑥「携帯電話」 通学・通勤時の電車やバスの中で通話することについて

携帯電話の普及に伴い、日常生活の多様な場面での携帯電話の使用に対する意識調査<sup>1), 2), 3), 4), 5) 6)</sup>がおこなわれている。木下ら<sup>4)</sup>は成人女子を対象とした携帯電話の受容性について調査している。交通機関の中、授業中、会議中に携帯電話を使うことに対しての成人女子の許容度は低い、公共の場での携帯電話の使用をすべて問題視するわけではなく、他者の領域をどの程度侵害するかによって可否の評価が異なっており、目をそらせれば見ずにすむようなものは受容するが、気にしなくても耳に入ってくるという不可侵領域を脅かすものに対しては許容度は低いのではないかと考察している。

一方、石川<sup>2)</sup>は電車内での携帯電話使用は控えるべきというマナーに対する大学生の意識では、携帯電話が電車内の一時的な共同性を破壊すること (共同体仮説) よりも単に音がうるさいこと (音仮説) の方が有力であったが、共同体仮説を支持する意見も得られたとしている。

本調査では通学・通勤時の電車やバスの中で通話することが「絶対にダメ」とするものが男子 33%, 女子 44% であり、一方、「構わない」とするものはそれぞれ 13.7%, 3.7% であった。また、「混雑していなければよい」は 36.4%, 34.2% とほぼ同じであった。このことから電車内

での携帯電話の使用には大学生の 1/3 以上はダメとっており、特に女子の方が電車内での携帯電話の使用に対して厳しい見方をしていることがわかる。

#### ⑦携帯電話に関する行動

今日、歩きながらの携帯電話は日常風景となっているが、本調査でも男女とも 80%以上が「歩行中の使用」を許容されると考えている。さすがに「授業中に教室の中で使う」ことが許容されると考えている学生は少ないが（男子 7.9%，女子 6.9%）、「教室を抜け出して電話する」のは許されると思っているのが男子で 55%と半数以上、女子で 43.7%と半数に近い割合である。授業中、席を立つのはトイレだけが目的ではないようである。

「お互いの会話中に他人の電話に出る」「仲間（友人）と食事中、電話に出る」「仲間（友人）と食事中、電話をかける」という設問は学生間に一時的に生じている共同性<sup>2)</sup>を電話が破壊することに対する許容意識をみるためのものである。

「お互いの会話中にかかってきた電話に対話の相手が出る」ことについて女子の許容率は 29.9%であり、男子の 41.2%に比べて低い。さらに「食事中、電話に出る」ことは男女とも 70%近くが許容しているが、「食事中、電話をかける」ことについての許容率は男子が 40.5%，女子が 25%であり、出るよりもかけることに対して否定的である。特に女子の許容率は低く、かかってきた携帯電話に出ることがいいが、かけることは仲間の間で生じている共同体を破壊する行為として特に女子学生は厳しい見方をしているものと思われる。

#### ⑧「携帯メール」 通学・通勤時の電車やバスの中でメールすることについて

歩きながらのメールも日常的な風景となったが、携帯メールについての許容意識はどうであろうか。通学・通勤時の電車やバスの中でメールすることについては性別による差はなかった（ns）。「絶対にダメ」とするものはわずかで、「構わない」、「混雑していなければよい」を合わせると 80%以上が許容されると考えている。携帯電話の通話は「構わない」が男子 13.7%，女子 3.7%であったのに対し、メールは「構わない」が 51.5%，46.6%とはるかに多い。これはメールでは音がしないため周囲に迷惑をかけていないという意識によるものであろう。

#### ⑨携帯メールに関する行動

「歩行中にメールする」ことは電話より低いけれども男女とも 70%を超えている。電話より低い理由は画面に集中するために人とぶつかったりする経験がその背景にあると思われる。「授業中の電話」の許容率は低い、「授業中のメール」は男女とも 40%以上が許容されるという意識を持っている。

また、「お互いの会話中にメールする」ことは電話に出ることとほぼ同じ許容度である。また「仲間と食事中にメールを読むこと」の許容率は 67.0%，64.7%とほぼ 2/3 が許容しているが、「仲間と食事中にメールを打つこと」の許容率（56.0%，44.0%）は電話をかけること（40.5%，25.0%）に比較して高い。メールは電話と異なり、通話者の会話を聞かなくてすみ、目をそらせば気にならないため、許容度が高いと思われる。

#### ⑩授業中の行動

授業中の行動に対する許容の分布に性別による有意な差はなかったが、全体に女子学生の許容率が低く「まじめ」であることが伺える。

「授業中の私語」は男子の 29.2%，女子の 22.4%が許

容されると考えている。「授業中に漫画や雑誌を読むこと」、「パソコン、インターネットをする」ことも許されるとするものもほぼ同率である。「授業に遅刻する」ことも（29.3%，23.％）が許されるし、「授業中に携帯電話でゲームをする」ことも男子の 27.8%が、女子の 19%がいいのではないかと考えている。

この数字はあくまでこれらの行為、行動が許容されると考えている率であり、実際の授業中の実施率を表しているわけではないが、許容されると考えていることは行なっている可能性を示すものである。教員からすれば自己の授業への否定であり、他の学生への迷惑行為であるが、⑦の「授業中に教室を抜け出して電話をする」（55.0%，43.7%）⑧の「授業中に抜け出してメールする」（40.5%，33.3%）に比較してこれらの許容率は低い。電話やメールが学生にとって「緊急性」のあるものであるのに対し、これらの行為、行動には緊急性はなく、学生の本分の反するものという意識があるためではないかと考えられる。

「教室の中で帽子をかぶる」ことの許容率は 34.7%，35.9%とほぼ 1/3 が許容している。いいかえれば 2/3 の学生は許容されないと考えているわけである。教室の中では帽子をとりなさいという教員の指示は現在のところは半数以上の学生から指示されると思われる。

#### ⑪日常の行動

日常の行動に対する意識の分布には男女で有意差があった（ $p < .01$ ）。「電車内での化粧」を許容する割合は男子 14.8%，女子 22.7%とともに低い。女子の許容率は男子より高い。一方、「電車内で床に座ること」「つばを道に吐く」「ガムを道に捨てる」「ゴミのポイ捨てをする」といった公共の場での迷惑や汚す行為に対して、男女とも許容率はきわめて低い。とくに女子ではこれらを許容する割合は数%である。

本調査では性別によって許容意識に有意差がある項目もあった。調査対象が女子 4 大学であるのに対し男子 1 大学であったため、男子のデータに偏りがある可能性がある。今後、偏差値などを尺度として学生レベルによる許容意識の比較が必要である。また授業に対する許容意識では教員と学生の比較が、さらに世代間の意識のズレに対しても多くの年代を調査した継続した研究が必要である。今後の課題としたい。

#### 4. まとめ

本調査では男女大学生の日常生活行動に対する許容意識を性別、喫煙、非喫煙で比較して分析した。全体として喫煙に関する行動には許容率は低い、非喫煙者と喫煙者では許容率に大きな差があった。また、公共の場での迷惑行為や汚す行為に対して厳しい評価をしているが、教室を抜け出して電話するなどの行動には比較的寛容な意識があることが明らかになった。主要な結果は以下である。

- 1) 喫煙に関わる行動に対しての許容率は低い。とくに女子学生では厳しい見方をしている。歩行中の喫煙の許容は男子で 22%，女子では 7.5%である。
- 2) 喫煙者の歩行中の喫煙の許容率は 45%である。また、食事中の喫煙は 50%が許容されると考えているのに対し、非喫煙者はわずか 12%であり両者に大きな意識の差がある。
- 3) 通学・通勤時の電車やバスの中で飲み物を飲むことについては、構わない、混雑していなければ飲んでよいとする条件つきを合わせると男女とも 80%以上が許容されると考えている。

表 日常生活行動に対する許容意識

	%			%		
① 喫煙に関する行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
歩行中に喫煙する	22.3	7.5	ns	45.7	8.7	p < .01
トイレで吸う	23.7	15.2		37.1	16.4	
灰を落とす	17.5	8.0		35.7	8.2	
禁煙場所で吸う	21.0	15.5		28.6	15.8	
吸殻のポイ捨てをする	4.5	2.0		11.4	1.3	
授業中、教室を抜けて吸いに行く	27.5	21.3		22.9	23.4	
食事中に喫煙する	20.3	12.6		50.0	12.1	
②「飲み物」 通学・通勤時の電車やバスの中で飲むことについて	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
構わない	23.0	22.4	p < .05	14.3	23.8	ns
混雑していなければよい	56.7	64.7		54.3	62.8	
絶対にダメ	7.9	3.2		7.1	5.2	
③ 飲み物に関する行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
歩きながら飲む	80.4	67.8	p < .05	84.3	71.6	ns
容器のポイ捨て	3.8	1.1		4.3	2.0	
授業中に飲む	43.6	53.2		52.9	47.0	
④「食べ物」 通学・通勤時の電車やバスの中で食べることについて	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
構わない	13.1	8.3	p < .01	8.6	10.6	ns
混雑していなければよい	48.1	64.7		44.3	59.9	
絶対にダメ	22.3	15.2		20.0	18.2	
⑤ 食べ物に関する行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
歩きながら食べる	62.2	52.6	p < .01	58.6	55.8	p < .05
容器のポイ捨て	3.4	0.0		5.7	0.9	
授業中に食べる	21.3	17.5		20.0	18.6	
⑥「携帯電話」 通学・通勤時の電車やバスの中で通話することについて	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
構わない	13.7	3.7	p < .01	10.0	8.0	ns
混雑していなければよい	36.4	34.2		27.1	36.6	
絶対にダメ	33.0	44.0		31.4	40.7	
⑦ 携帯電話に関する行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
歩きながら使う	84.9	80.7	ns	87.1	82.5	ns
授業中に教室の中で使う	7.9	6.9		11.4	5.9	
授業中に退室して使う	55.0	43.7		54.3	47.8	
お互いの会話中に他人の電話に出る	41.2	29.9		41.4	33.8	
仲間（友人）と食事中、電話をかける	40.5	25.0		47.1	29.0	
仲間（友人）と食事中、電話に出る	72.2	67.5		74.3	69.1	
⑧「携帯メール」 通学・通勤時の電車やバスの中でメールすることについて	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
構わない	51.5	46.6	ns	44.3	49.4	ns
混雑していなければよい	30.2	36.8		27.1	35.5	
絶対にダメ	4.8	4.9		4.3	5.0	

⑨ 携帯メールに関する行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
歩行中にする	75.6	70.1	ns	87.1	71.2	ns
授業中に教室の中でメールする	46.4	40.8		51.4	40.9	
授業中に退室してメールする	40.5	33.3		30.0	37.2	
お互いの会話中に他人とメールをする	35.1	32.5		40.0	32.2	
仲間（友人）と食事中、メールを読む	67.0	64.7		71.4	64.7	
仲間（友人）と食事中、メールを打つ	56.0	44.0		61.4	47.4	

⑩ 授業中の行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
学校に香水をつけてくる	71.8	76.7	ns	88.6	71.9	ns
授業中に私語をする	29.2	22.4		32.9	25.1	
授業中に漫画、雑誌などを読む	29.6	29.0		30.0	29.4	
授業中にパソコン、インターネットをする	25.1	21.3		37.1	20.8	
教室の中で帽子をかぶる	34.7	35.9		41.4	34.2	
授業中にトイレ以外の入退室をする	27.8	19.8		27.1	22.3	
授業に遅刻する	29.2	23.0		30.0	25.1	
授業中に携帯電話でゲームをする	27.8	19.0		27.1	22.1	

⑪ 日常の行動	男子	女子	$\chi^2$ 検定	喫煙	非喫煙	$\chi^2$ 検定
電車内で化粧をする	14.8	22.7	p < .01	21.4	18.6	ns
電車内で床に座る	11.7	5.2		8.6	7.6	
つばを道に吐く	18.2	2.6		22.9	7.2	
ガムを道に捨てる	8.2	1.7		10.0	3.7	
ゴミのポイ捨てをする	6.5	0.6		5.7	2.8	

- 4) 歩きながら飲むことは男子の8割が、女子の7割が許容されると考えている。また、授業中に飲んでもよいとする割合も男女とも半数近い。
- 5) 通勤・通学時の車内でものを食べることは飲み物に比較して許容率は低い。
- 6) 歩きながら食べることは歩きながら飲むことより許容度は低いが、男子で6割、5割以上が構わないと考えている。
- 7) 通学・通勤時の電車やバスの中で通話することは絶対にダメとするものが男子で33%、女子で44%であり、混雑していなければよいは36%、34%とほぼ同じであった。
- 8) 歩行中の電話は男女とも80%以上が許容されると考えている。教室を抜け出して電話をするのは許されると思っているのが男子で55%と半数以上、女子で半数近い割合であった。
- 9) 仲間と食事中、電話をかけることについての許容率は男子40.5%、女子25%であり、電話に出るよりもかけることに対して否定的である。特に女子の許容率は低く、かけることは仲間の間で生じている共同体を破壊する行為として特に女子学生は厳しい見方をしていると考えられる。
- 10) 通学・通勤時の電車やバスの中でメールすることについて構わない、混雑していなければよいを合わせると80%以上が許容されると考えている。
- 11) 歩行中にメールすることは70%が許容されると考え、授業中のメールは男女とも40%以上が許容されるという意識を持っている。
- 12) 仲間と食事中にメールを打つことは電話をかけることに比較して許容率が高い。メールは通話者の会話を聞かなくてすみ、目をそらせば気にならないため、許容度が

高いためと思われる。

- 13) 授業中の行動に対しては女子学生の許容率が低くまじめであることが伺えた。授業中の私語、授業中に漫画や雑誌を読むこと、パソコン、インターネットをすること、授業に遅刻すること、授業中に携帯電話でゲームをすることの許容率は20～30%である。
- 14) 電車内での化粧」を許容する割合は女子の許容率が高い。電車内で床に座ること、つばを道に吐く、ガムを道に捨てる、ゴミのポイ捨てをするといった行為に対して、男女とも許容率はきわめて低い。とくに女子ではこれらを許容する割合は数%であった。

#### 参考文献

- 1) 鈴木晶夫「青年期における同世代行動に対する許容度」、ヒューマンサイエンス, 15, 1, 46-52, 2003.
- 2) 石川幹人「メディアがもたらす環境変容に関する意識調査 - 電車内の携帯電話使用を例にして -」情報文化学会, 7, 1, 11-20, 2000.
- 3) 岡田朋之, 松田美佐, 羽淵一代「移動電話利用におけるメディア特性と対人関係 - 大学生を対象とした調査事例より -」情報通信学会年報 1999, 43-60, 2000.
- 4) 木下結加里, 米谷淳「成人女子のメディアの使い分けとその受容」Hum Interface, 13, 2, 327-332, 1998.
- 5) 佐藤智洋, 佐藤正規, 佐藤隆亮, 下平浩揮, 下山智美, 下山真喜子「携帯電話の使用とその意識調査」社会と医学実習 平成 13 年度 衛生学・公衆衛生学自由研究報告書, 32-36, 2002.
- 6) 本堂毅「携帯電話による公衆被曝をめぐって」日本物理学会誌, 58, 6, 430-434, 2003.

## 大学生の日常生活行動に許容意識についての調査

一般論ではなく、あなた自身の考えで回答して下さい

(男 : 女) 年齢 歳 喫煙者 (1 日 1 本以上吸う人) : 非喫煙者

## Q1 喫煙について、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可)

1. 歩行中に喫煙する
2. トイレで吸う
3. 灰を落とす
4. 禁煙場所で吸う
5. 吸殻のポイ捨てをする
6. 授業中、教室を抜けて吸いに行く
7. 食事中に喫煙する

## Q2 飲み物について、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可) ( ) 内は○を 1 つ打って下さい

1. 通学・通勤時の電車やバスの中で飲む (構わない 混雑していなければよい 絶対にダメ)
2. 歩きながら飲む
3. 容器のポイ捨てをする
4. 授業中に飲む

## Q3 食べ物について、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可) ( ) 内は○を 1 つ打って下さい

1. 通学・通勤時の電車やバスの中で食べる (構わない 混雑していなければよい 絶対にダメ)
2. 歩きながら食べる
3. 容器のポイ捨てをする
4. 授業中に食べる

## Q4 携帯電話の通話について、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可) ( ) 内は○を 1 つ打って下さい

1. 通学・通勤時の電車やバスの中で通話する (構わない 混雑していなければよい 絶対にダメ)
2. 歩きながら使う
3. 授業中に教室の中で使う
4. 授業中に退室して使う
5. お互いの会話中に他人の電話に出る
6. 仲間 (友人) と食事中、電話をかける
7. 仲間 (友人) と食事中、電話に出る

## Q5 携帯メールについて、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可) ( ) 内は○を 1 つ打って下さい

1. 通学・通勤時の電車やバスの中でメールする (構わない 混雑していなければよい 絶対にダメ)
2. 歩行中にする
3. 授業中に教室の中でメールする
4. 授業中に退室してメールする
5. お互いの会話中に他人とメールをする
6. 仲間 (友人) と食事中、メールを読む
7. 仲間 (友人) と食事中、メールを打つ

## Q6 以下について、許容されると思うものに○をつけて下さい (複数回答可)

1. 学校に香水をつけてくる
2. 授業中に私語をする
3. 授業中に漫画、雑誌などを読む
4. 授業中にパソコン、インターネットをする
5. 教室の中で帽子をかぶる
6. 授業中にトイレ以外の入退室をする
7. 授業に遅刻する
8. 授業中に携帯電話でゲームをする
9. 電車内で化粧をする
10. 電車内で床に座る
11. つばを道に吐く
12. ガムを道に捨てる
13. ゴミのポイ捨てをする

ご協力ありがとうございました。

(受理 平成 17 年 3 月 17 日)